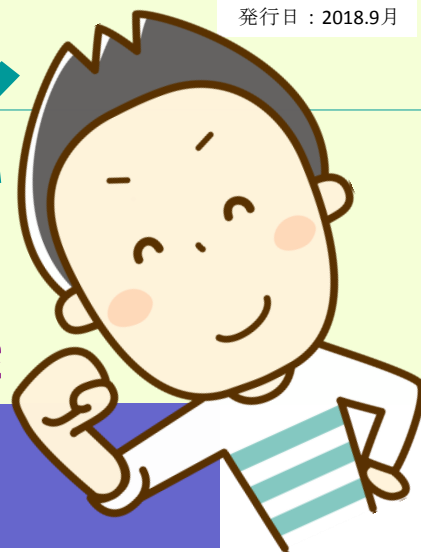


島根大学のダイ(おとうさん)を応援するニュースレター

シマダイ

島根大学男女共同参画推進室



出雲キャンパスに 学童保育施設「キッズクラブ太陽」が完成しました！

平成30年7月23日、医学部構内に学童保育施設「キッズクラブ太陽」が設置され、開所式が行われました。

これは男女共同参画推進室が平成28年6月に開催した「第50回さぼっとカフェ」において、医学部職員より「医学部・附属病院では勤務時間が変則的で、公営の学童保育施設は終了時間に迎えが間に合わない」と学童保育設置の強い要望があったため、ワークライフバランス支援室と協力して調査を行い、今後のニーズを見据え学童保育施設設置に着手したものです。

開所式で、服部泰直学長は「近年、社会構造の変化により、職場のダイバーシティ(多様性)が求められています。学童保育施設の設置により、男女とも働きやすい職場になるように願っています。」と挨拶しました。続いて井川幹夫病院長は「太陽のように明るく、活動的な施設にしたいとの思いから、“キッズクラブ太陽”としました。やさしいスタッフの適切な運営を期待します。子どもたちの成長のため、ご協力をお願いしたい。」と述べました。業務委託先の株式会社さんびる社長の田中正彦氏は「学童保育内では宿題のサ

ポートのほか、希望があれば習字、英会話の塾なども実施します。」と運営について説明しました。利用予定の職員は、保育スタッフと子どもと一緒に学習する姿を見守りながら、「心から嬉しいです。これで安心して子どもを預けられ、仕事も頑張れます。」と語っていました。(島根大学HPより)

男女共同参画推進室としましては「さぼっとカフェ」で職員の声を拾い上げ、成果につながったことは大きな喜びです。今後も、ダイバーシティ環境整備をより一層進めてまいります。



開所式テープカットの様子(写真左から、株式会社さんびる社長 田中正彦氏、ワークライフバランス支援室長 神田眞理子、男女共同参画推進室長 藤田達朗、島根大学長 服部泰直、附属病院長 井川幹夫、島根大学監事 篠塚英子)

学童保育施設「キッズクラブ太陽」は鉄骨平屋建て、面積150㎡、多目的室と学習室2室を有し、定員は50名です。写真は学習する子どもたち。



学童保育施設「キッズクラブ太陽」の西脇陽子校長にお話を伺いました

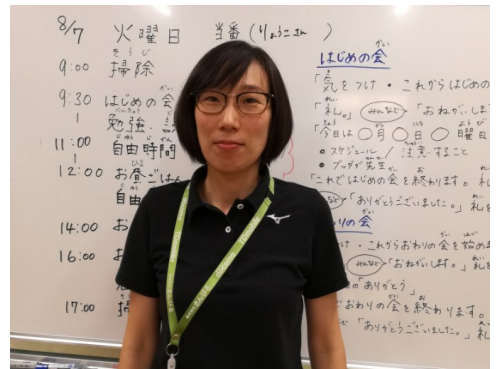
「キッズクラブ太陽」は7月23日に開校し、現在毎日4名くらいのお子さんをお預かりしています。時間は朝8時から19時まで、延長保育は20時までです。保育時間の中で宿題の時間を取っていますので、なるべくこちらで宿題を終わらせ、家では親子の時間を過ごしてほしいですね。

子どもは松江で学童保育（さんびるアカデミー学童塾）を行っており、そちらでは現在70名の子どもたちをお預かりしています。そのノウハウを活かし、出雲校と

一緒に活動しています。

夏休みは時間があるので、いろいろなことを体験してもらいたいです。これまで松江校の子どもたちと一緒に、サンレイクでのレクリエーションや、スイカ割り、茶道体験等を行いました。出雲校の子どもたちは自主的に宿題をするので、感心しています。

さんびるアカデミー学童塾の活動についてはさんびるHPやブログ等にも掲載していますのでぜひご覧ください。



計画表の前で。論語はまだ難しいので、今は「ブツダがせんせい」を読み聞かせているそうです。

附属病院リハビリテーション部 江草療法士長の「シマダディ」生活について伺いました

医学部附属病院
リハビリテーション部
療法士長 江草典政さん



利用希望者の意見とりまとめに
尽力。島根大学学童保育施設
「キッズクラブ太陽」の前で。

私には子どもが4人います。私も妻も実家が遠方のため夫婦2人で子育てをしており、頼れるものがありませんでした。公設の学童も利用しましたが、終了時刻の6時に迎えに行けないことも多く途中で断念しました。子どもは放課後に一人ぼっちで家で過ごしていて心配でもあり、寂しい思いをさせていることに心が痛みました。同僚の中にも学童保育が満員で利用できず、仕事を辞めた職員がおり、「学童保育があったら・・・」という声は職員間でも切実でした。

今回、夏休み開始とともに小学1年生の娘を「キッズクラブ太陽」にお願いしました。とても良くして頂き、毎日ニコニコ通っています。宿題の時間もあり、スムーズに夏休

みの宿題が終わる妹を見て、お兄ちゃんも「僕も行ったら宿題終わるかな」と言っています（笑）。平日楽しんでるせいか「土曜日は1人で留守番できる」と自信満々で、学童で勉強や遊びのいいリズムを作ってもらい精神的に安定していることを感謝しています。

今回、大学として安心して仕事に集中出来る仕組みを作っていたことに感謝しています。そして、親も学童に任せっきりではなく自分が出来る事を考えていくことも必要だと感じています。今後も学童に限らず、職員と大学と一緒に新しい取り組みができれば「みんなもっと幸せになれる」と期待しています。

編集後記

2年前の「さぼっとカフェ」から始まった出雲キャンパス学童保育が、ようやく出来上がりホッとしています。教職員の言葉が形になったこと、言い続ければ夢はかなうこと、そして「あきらめずに頑張っていれば、良い風が吹く」ということを学ばせてもらいました。どうか「キッズクラブ太陽」が子どもたちと一緒に大きく育ってくれますように。

学長特別補佐（男女共同参画担当） 河野

島根大学男女共同参画推進室

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060番地

Mail: kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp



「シマダディ」や「働き方改革」に関するご意見やアイデアをお寄せください。みなさまのご意見やアイデアを集約し、イクメン・イクボス アイデア集として誰でもアクセスできるようにしていきます。

シマダディ特設サイト: <http://gender.shimane-u.ac.jp/docs/index.php/doc3/newsletter>